

旧赤星鉄馬邸の保存・利活用を考える 市民ワークショップニュース

vol. **3**

令和5年6月発行 / 武蔵野市 総合政策部 資産活用課

旧赤星鉄馬邸と建物の文化財的価値と豊かな自然環境を次の世代へつなぐため、庭と建物との一体的な利活用を検討しています。全4回の市民ワークショップでは、利活用で大切にしたいこと、保存・利活用のアイデア、次世代につながるしくみを一緒に考えていきます。

このニューズレターでは、毎回のワークショップの内容を市民の皆様に発信していきます。



第3回ワークショップの様子

ワークショップの予定

※参加申込みは締め切りました
傍聴可(要事前申込)

第1回 1/22(日) 旧赤星邸を知ろう

第2回 3/19(日)
旧赤星邸の利活用で大切にしたいことを考えよう

第3回 5/14(日)
テーマに沿って利活用アイデアを考えよう

第4回 7/9(日) **次回**
次世代につながるしくみを考えよう

第3回ワークショップを実施しました

日にち：令和5年5月14日(日)

時間：13:30～16:30

会場：成蹊大学

参加人数：36名(6班編成で実施)



当日のプログラム

前回のふりかえりと今日の進め方

市からの情報提供

グループ討議

「大切なことをふまえた利活用アイデアを考えよう」

グループ発表とシール投票

次回に向けて

①

第3回ワークショップ

旧赤星鉄馬邸の利活用アイデアを考えよう

今回は「まずは自分たちで取り組みそうなこと」「旧赤星邸全体としてできたらいいな」という2点からグループ内でこれまで出された視点や利活用アイデアから企画として掘り下げるものを選び、意見交換をしました。その後、5WIHにもとづき「アイデアシート」をまとめました。ワークショップ終盤には、アイデアシートを全員でシール投票（1人3枚）しました。

各班で出されたアイデアシートからは、

①庭と建物の一体的な利活用②赤星やレーモンドにまつわる歴史・文化を伝える利活用を軸にしたアイデアが出されました。最終回である今回は、今回出された企画をブラッシュアップさせ、今後の社会実験や検討に生かしていきます。



1班

●内の数字は当日のシール投票数

1. みんなのためのみんなのカフェ 6



建築を見る人、自然に触れたい人、無目的など、いろいろな人が集まれる。

目的を限定せずに市民が自分たちのできることをできる範囲で、関わりながら実現できる。赤星邸をランドマークにして時を過ごせる。

2. 武蔵野市民マルシェ（農産物直販所）3

集う、シェアする、学ぶ。
武蔵野野菜を買うだけでなく、育て方や調理の仕方を包括的に提供する場。



アイデアのもとになった意見

- どれかに選ぶのではなく複数の活用ができる場に。
- 何もしない場がとても贅沢な空間だ。
- 開かれた市民の場として、活動内容を決めて始めるのではなくゆるやかに始め、活動を試す場としてスタートし、結果を見ながら場所を作るよう余白を残してはどうか。
- 20代や30代までが集まれる場が地域に少ない。
- 庭で映画を見る催しができるとうい。
- 市民が庭づくりに参加できると良い。
- 継続性を担保するには収益を得ることを大切にしたい。
- 他でもできるものではなく、この場所でやるべきことは何か。

2班

3. レーモンド建築資料館・レーモンド先生の本棚 4



アントニン・レーモンドが設計した建物に関する資料や情報を集め公開する。

他のレーモンド氏設計の建物（の管理者）との交流。

4. 武蔵野の実家・ふらっと行ける 6

子どもから大人まで静かに過ごすこと、一人でのんびりもできる、第3の場所、庭が魅力。

木がたくさん残されていること、庭であることが大切、館ではなく「お家」の感じがよい。

ふらっと行ける自由さ。



アイデアのもとになった意見

- 静かに過ごす、癒やされると同時に建物と庭を一体で楽しめる。
- 気軽に訪ねられ、日常から離れることができるように。
- ディベートする機会をつくり、いろいろな人が語り合う場に。
- 障害のある方が利用できる場所に。
- こども食堂、地域の人が子どもを育てるような場所に。
- レーモンド建築を集約する拠点とする。
- 当初あったオーニングなどで屋外と室内をつないで食事を体験できるように。
- ガーデンウェディングや記念撮影で有料で貸出し、収益を得る。
- 今のままで良い、木は切らないでほしい。
- 塀をどうするか。防犯上も見通しを確保するため、生け垣などにして、中の様子は見えるが領域をはっきりするような工夫が必要。



3班

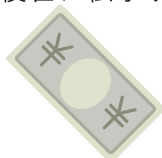
5. 探検！みんなの赤星邸！ 7



庭と建物を知ってもらい、楽しんでもらう、静かな時間を過ごしてもらおう。

6. 赤星邸（建物・お庭）の未来への伝承 7

赤星邸の歴史的価値を広く後世に伝承する→そのための収益の確保。



アイデアのもとになった意見

- 庭を眺めながら、お茶ができるような空間はほしい。カフェ運営は用途上難しいので、やり方を工夫したい。
- 施設見学後に休憩しつつお茶が飲めるように（1階をカフェ、2階を展示室など）。
- 建物が貴重であること、登録有形文化財ということを周知し、赤星邸の価値を発信し、この建物でやる意味のあるものを。
- にぎやかな演奏より、近隣に馴染む文化財ならではのコンサート（クリスマスコンサートなど）。
- 若い層（大学生、20代）が自分たちで企画を立て実現できる場になると良い。話し合いができる場所も必要では。

4班



7. 晴れの舞台でも使える市民の憩いの場 8

赤星鉄馬邸の良さを引き出す（空間、広い厨房）、庭と一体的な活用、

収益を得る（週替わりカフェ、フィルムコミッション、結婚式、アニメ、ギャラリー）

8. ナミュール・ノートルダム修道女会のヨウヘキ

ちょっと困った、を話せるよろず相談室 6

修道院に守られていたような空気感を継承
愛あふれる場所であり続ける、誰かに何かを
言いたくなったら来るところ

ここがかつて修道院であったこ
とを忘れずに



アイデアのもとになった意見

- ・ 近隣には子どもや高齢者が多く住んでいる。修道女会がなくなり、これまで守ってくれていた存在が失われた感覚がある。
- ・ 少数の厳しい環境の子どもを支援できるよう、管理された安心して使える場に。
- ・ 大きな厨房を活用し、若年層の貧困を助けたい。
- ・ 常設の歴史ギャラリーのほか、収益事業として市民の絵画を展示し、地域のDNAを伝える。
- ・ 庭を一体的に活用したり、市民ボランティアで庭を管理したい。
- ・ 武蔵野市はアニメ作家が多いので生かしたいが、市民レベルでできるかは課題だ。
- ・ 大きな厨房を活用し、市内の個店が週替わりで出店できる。
- ・ フィルムコミッションで使い、市内の花屋が飾り付けに参画。
- ・ 建物内の部屋が細かく分かれているので、不審者が心配。管理する人の常駐が必要。

5班

9. 旧赤星邸を知る 5

建築好きを引きつける場所

建物の維持

観光ではなくレーモンド建築を知る

10. 庭の中で料理を楽しむ場 3

庭の中で楽しむ

料理を中心に集まりやすいように

一庭の使い方は①イベント的②常に使える
の2つの観点で考える



アイデアのもとになった意見

- ・ 子どもだけでなくいろいろな立場の人が関われる機会を創出。
- ・ 子どもが走りまわられる場が周囲にない。ただし、利用が集中して旧赤星邸の芝生や緑が傷むのは避けたい。
- ・ 建築の重要性や魅力を伝える資料をつくり展示すると良いが、市民だけでの運営は難しそう。SNSなどの発信は、市民もできる。
- ・ 住宅地なので外でコンサートや音楽会などは難しそう。
- ・ 作り込みすぎない感じが良い。樹木を使って草木染めなど、この場所ならではの活動ができると良い。
- ・ 成蹊大学の授業の一環として、学生に運営に関わってもらうなど大学のニーズも掘り起こしたい。

6班

11. レーモンド建築アニメによる聖地化 12

赤星邸が唯一無二であることを伝える。

レーモンド建築…構造の特徴を伝える（唯一無二の建築遺産）

庭と建物の関係、バランスを伝える「建物は森の中のキノコ（レーモンド）」

周辺の建物（瀟家住宅西洋館）もあわせて鑑賞

12. 皆で作る祝福・祝祭の場 1

末永く使っていくための次世代へのプレゼント、開かれた活動の場

市民が市民を祝福する



アイデアのもとになった意見

- ・ ティーンズなど若い人がぼーっと過ごしたり、自主学習したり、静かに過ごせたりする場に。
- ・ 目的をもって集まれるコミュニティセンターのような場に。
- ・ 赤星邸は唯一無二の存在であることを伝える、それに絡めて武蔵野の周辺の歴史も伝える。
- ・ 結婚式や披露宴で収益をあげられるようにする。カップルも良い思い出にできる。地域の人なども披露宴を一緒に作り地域への思いが高められると良い。
- ・ 地域の人が発表したり、コミュニティの中で生きていくと体感ができ、かつ気軽に参加できる場を。
- ・ コンサートは騒音問題を考えると室内か。屋外でできると良いが…。
- ・ 保存樹木はすべて価値があるか疑問だ。雑木林につくり変え、多様な生き物が生息できるようにすれば、管理もしやすくなる。
- ・ 「建物の見学」にニーズはある。
- ・ アニメの要素で維持管理費に見合う収益を得られるように。
- ・ 市民が一部でも運営に取り組み、次世代に伝えることがしたい。

参加者コメントシートより

- ・ スムーズに進めていただきありがとうございました。「次もぜひ参加したい」というモチベーションが強くなりました。
- ・ 用途からのアイデアは出しやすいですが、どのような機能が必要かの視点も重要と感じました。
- ・ よく議論ができて楽しかったです。
- ・ 様々な世代、価値観の人の意見をファシリテーターの方がうまくまとめてくださいました。
- ・ 一般公開参加人数の多さを伺い、ワークショップは責任重大だな！と身の引き締まる思いです！

旧赤星邸の価値や継承すべきものとは

～利活用検討有識者会議より～

有識者会議より下記のキーワードが出されています。これらの意見も参考にしながら、利活用アイデアをさらに具体化していきます。

建物と庭との関係

- 佇まいや雰囲気
- 建物から見える庭の美しさ
- 庭から見た建物の美しさ
- 組合せ自体も非常に価値ある
- レーモンドが日本に持ち込んだ、建物の中と外の連続性、半屋外で食事をする空間
- オリジナルでは藤はなく可動式のテントで外のリビングルームとして使われていた
- 建物と庭の一体化
- 建物の中も外であるという感覚
- 何もしなくていい場所があるのは贅沢
- 五感を満たす憩いの場

暮らしの変遷・歴史

- 旧赤星邸を巡る様々な歴史的背景
- 「赤星家」や「赤星鉄馬」の歴史そのもの
- 歴史的価値、文化的価値の継承
- 住宅～修道院で使われたミステリアスな部分も社会的価値の一部
- 修道女会としての歴史、50年にわたる活用
- 庭は歴史的には暮らしの中で意味を持っていた
- 今までの価値とこれからの価値
- 木が大きいという事は、それだけ平和な時代が続いたということ

旧赤星鉄馬邸竣工当時の様子



上写真2枚 出典：アントニン・レーモンド作品集 1920-1935、城南書院、1935年

パネル展示と意見聞き取り（オープンハウス）

どなたでもご参加できます。

予約不要

終了しました

- 第1回 6/4(日) 午後1～4時
はなこみち（吉祥寺駅南北自由通路）
- 第2回 6/18(日) 午後1～4時
イトーヨーカドー武蔵境店東館

- 第3回 7/23(日) 午後4～8時
タワーズマルシェ@むさしの（荒天中止）

武蔵野市中町 1-12-10 武蔵野タワーズスカイゲートタワー（南棟）公開空地



みなさまの声を聞かせてください！

Webにて、旧赤星鉄馬邸の保存・利活用に関する意見を募集しています。いただいたご意見は利活用検討の参考にします。



問合せ先 〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28 武蔵野市役所 総合政策部 資産活用課

電話：0422-60-1973 fax：0422-51-5638 E-mail：sec-shisankatsuyou@city.musashino.lg.jp